

8/28 千歳市・指宿市相互交流事業
指宿での体験を研究報告



今年で30回目となる指宿市との青少年交流事業を、8月2日～8月5日に行いました。千歳市からは16人の児童が指宿市を訪問し、現地の児童とホームステイやアクティビティなどで交流を深めました。8月28日には事後研修会を開催。千歳第二小6年の中口 美凧さんは、「私の指宿おいしい食べ物報告書」と題し、現地グルメを紹介。パッションフルーツやマンゴー、鰹節などの特産品をレポートしたほか、食べ物ランキングでは1位に郷土料理の鶏飯を挙げ、「お茶漬けみたいで食べやすい」と紹介しました。結びには、「鹿児島に行ったときは、私の指宿おいしい食べ物報告書をもとに、いろいろなものを食べてみてください」と呼びかけました。美凧さんの報告書をはじめ、事後研修会で発表された研究成果は、9月上旬から市ホームページで公開しています。

人のうごき

《総人口》
97,704人(+80)
男性 49,668人(+73)
女性 48,036人(+7)
《世帯》52,602世帯(+42)

()内は、前月との比較です。

9-1
現在

広報ちとせのおわびと訂正

広報ちとせ8月号19ページにて、よさこいチーム名を誤って記載していました。
誤：恵庭紅鴉
正：tokachi-紅-おわびして訂正します。

8/22 道央廃棄物処理組合
ごみの「焼却施設」が完成



道央廃棄物処理組合が、4月1日から運用を開始している焼却施設の完成記念式典を開催しました。組合を構成する2市4町(千歳市・北広島市・南幌町・由仁町・長沼町・栗山町)の代表者や施工業者など関係者112人が参加。施設は令和元年11月に着工し、今年7月31日に外構を含むすべての工事が完了。式典では、組合管理者の横田市長が「くらしやすい環境を作るため管理運営に万全を期す」とあいさつした後、設計・施工者の《日立造船・五洋建設・丹波組特定共同企業体》と施工監理者の《(株)ドーコン》に感謝状が贈呈され、最後にくす玉を割って新たな施設の完成を祝いました。

百 ちとせ空港 年物語

手づくりの着陸場から新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

Vol.17

三度目の正直

「元をたどると、村民が自ら造成した着陸場だったとか」
調査に取りかかった二人は、地質、地形、気象、排水といった適性を調べ上げました。

三度目の正直

「千歳はへき地だが、飛行機を飛ばすための条件は悪くない。小福田君は、どう思う？」
先に調査した石狩と苦小牧では、広さはともかく地質や気象などの条件が報われた瞬間でした。

後日これが採用となり、千歳における海軍航空基地建設が決定。誘致合戦での二度の挫折を経て、ようやく村民の努力が報われた瞬間でした。

こうして一週間ほどの調査を終えて大湊に帰った榎貝と小福田は、千歳を第一候補地として報告します。

「決まりだな」
「要求されている滑走路長は1500メートルほどだが、この付近なら拡張の余地もある」
「榎貝さんの言うように、地質をはじめ諸条件も問題なさそうですね」
「決まりだな」
こうして一週間ほどの調査を終えて大湊に帰った榎貝と小福田は、千歳を第一候補地として報告します。

「元をたどると、村民が自ら造成した着陸場だったとか」
調査に取りかかった二人は、地質、地形、気象、排水といった適性を調べ上げました。

三度目の正直

「千歳はへき地だが、飛行機を飛ばすための条件は悪くない。小福田君は、どう思う？」
先に調査した石狩と苦小牧では、広さはともかく地質や気象などの条件が報われた瞬間でした。

後日これが採用となり、千歳における海軍航空基地建設が決定。誘致合戦での二度の挫折を経て、ようやく村民の努力が報われた瞬間でした。

こうして一週間ほどの調査を終えて大湊に帰った榎貝と小福田は、千歳を第一候補地として報告します。

「決まりだな」
「要求されている滑走路長は1500メートルほどだが、この付近なら拡張の余地もある」
「榎貝さんの言うように、地質をはじめ諸条件も問題なさそうですね」
「決まりだな」
こうして一週間ほどの調査を終えて大湊に帰った榎貝と小福田は、千歳を第一候補地として報告します。

7/30 的当てゲームで楽しさ実感
スナッグゴルフ体験会



スポーツ推進委員が教えるスナッグゴルフの体験会が、せいりゅう児童館で開催されました。体験会は「千歳学出前講座」の一つとして行われたものであり、三上 幸男さんらスポーツ推進委員が、クラブの持ち方や打ち方を指導。参加した小学生約50人がグループに分かれ、狙った的にボールを当てて点数を競うゲームを楽しみました。グループ1位の点数を獲得した武茂 旺佑さん(千歳第二小5年)は、勝因を「ボールの真ん中をめがけて打てたこと」と分析。同じくグループ1位の村田 望羽さん(千歳第二小2年)は「強く打ちすぎず、慎重に打ちました。1番になれてビックリ!」と話しました。

8/6 ふるさとポケット絵画展選考会
増田 夏帆さんに最優秀賞

今年で27回目となる《ふるさとポケット》絵画展の選考会が行われ、732点に及ぶ応募作品の中から、増田 夏帆さん(北陽小3年)の作品が最優秀賞を受賞しました。作品はヒマワリ畑の中にいる夏帆さんと妹の汐菜さんを描いたもので、昨年の夏休みに行った北竜町での思い出を再現。「一番楽しかった思い出を絵にしました」と話し、ヒマワリの花びらの縁取りとタネの描写が難しかったと振り返りました。作品は、9月29日開催予定のふるさとポケットのPRポスターに使用されます。夏帆さんは、「これを見た人にも楽しい気分になってほしい」と作品に込めた思いを話してくれました。

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

8/6 順調な生育状況を確認
農作物生育状況調査



横田市長をはじめ、市議会議員など関係者25人が都地区、中央地区、幌加地区の畑で農作物の生育状況を確認し、生産者の方と意見交換を行いました。中央地区でばれいしょやスイートコーンを栽培し、観光農園を経営する松浦 勇さんから、「昨年ほど暑くはなく、天候にも恵まれているので作物の生育は早くなっている。ばれいしょの出来もよく、たい肥をたっぷり使っているのでスイートコーンも甘くできました」との説明があり、関係者の皆さんも納得の表情を浮かべていました。今年は雪解けが早く、農作物の作付けが順調に進んでいたことも重なり、豊穡の秋が期待されます。